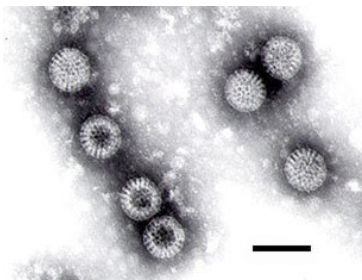


*** 今日の健康(4月) ***

<ロタウイルス感染症>

ロタウイルスの名前の由来はラテン語の車輪という言葉です。電子顕微鏡で見ると車輪状の構造が観察できます。A~G群に分類され、このうちヒトに感染が認められるのはA・B・C群で、A群ロタウイルスが小児下痢症の主要原因です。

発展途上国などでは栄養状態や治療設備が十分でなく、毎年40万人以上の子どもが命を落としており、これは世界のどこかで約1分に1人の子どもがロタウイルスによる胃腸炎で亡くなっていることを意味します。幸い日本では脱水症状の改善など適切な治療も行われ、これが原因で亡くなる子どもはほとんどいません。しかし、高齢者の介護施設等では集団胃腸炎の原因にもなるので注意が必要です。



<感染経路・潜伏期間>

ロタウイルスは経口感染で唾液や便などの排泄物から口に入り、1~3日間の潜伏期間をへて嘔吐や下痢で始まります。そしてロタウイルスは約1週間便中に排泄されます。

<疫学>

秋から冬に多く日本では2~3月に最も多くみられます。冬季嘔吐症と呼ばれ乳幼児の冬の急性下痢症の8割以上を占めます。また、ウイルスの影響で便に色をつける胆汁がうまく分泌されず白っぽい米のとぎ汁のような水様下痢便で白色便性下痢とも言われ、激しい嘔吐を伴うこともあるため嘔吐下痢症、小児仮性コレラ、白痢などとも呼ばれています。

乳幼児期までに大部分が感染し、生後1歳までに50%、3歳までに90%が抗体を獲得します。母親からの移行免疫のため生後約6か月以内の感染はほとんどありません。7ヶ月~3歳くらいまでに必ずと言っていいほど感染します。

<症状・治療>

他の胃腸炎ウイルスに比べると症状は重い傾向にあり、激しい嘔吐や下痢が起こりますが、一般的に胃腸炎症状のみで軽快することがほとんどです。37.5-38.5度位の熱を伴うこともあります。激しい嘔吐や下痢の為に水分を失い脱水状態を起こしやすく、電解質のバランスも崩れやすいので、飲める物を少しずつ飲ませて脱水を予防することが重要です。電解質を含むイオン水や湯冷まし、少し暖めたミルクを、嘔吐をしないように少しの量(50cc位)を何度も分けて与えるとよいでしょう。

下痢の為に便がたぐりやすいので擦らないように洗い、軟膏を用意しましょう。

尿量が減少し、嘔吐で飲み物が飲めない場合は、点滴治療が必要となります。嘔吐は1~2日で、下痢は1週間くらいでおさまり、便はだんだん黄色くなって治ります。

<糞便と汚染処理>

ロタウイルスは、下痢便中に1億~100億個(1gあたり)と実に大量に排泄されています。したがって、おむつの適切な処理、おむつ替えの後の手洗い、汚染された衣類等の消毒など、糞便とそれによる汚染物品の処理が感染拡大防止のポイントとなります。

除菌作用があるウェットティッシュで手を拭くだけでは、手に付着したウイルスを除去するには不十分で、消毒用石けん等を使用し流水でしっかりと洗い流すことが大事です。本人と同居者の手洗いが何よりも重要です。

日本ではロタウイルス感染で亡くなる子どもは殆どいませんが、発展途上国では毎年多くの子どもが犠牲になっています。日本を含め公衆衛生の徹底した先進諸国でも、感染が毎年繰り返されています。このため、接種費用と医療費+家族看護費とを比較した費用対効果によって、ロタウイルスワクチン接種(経口内服の生ワクチン)の必要性が進められています。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏